

## 会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回本庄市総合教育会議		
開催日時	令和2年 9月30日(水)	午前・午後 午前・午後	2時00分から 3時05分まで
開催場所	児玉総合支所会議室A・B		
出席者	<p>構成員：吉田市長、勝山教育長、岡崎教育長職務代理者、落合委員、今井委員、高橋委員</p> <p>教育委員会事務局：高橋教育委員会事務局長、笠原教育総務課長、原生涯学習課長、柳教育総務課長補佐、荒牧生涯学習課長補佐、茂木生涯学習課長補佐、前川生涯学習課係長</p> <p>事務局：内田企画財政部長、前川企画課長 新井企画課長補佐、企画課石橋主事</p>		
議題 (次第)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 市長挨拶</li> <li>3 教育長挨拶</li> <li>4 議 題           <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本庄市における公民館事業について（意見交換）</li> <li>② 塙保己一遺徳顕彰事業について（意見交換）</li> </ol> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉 会</li> </ol>		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 資料1：本庄市における公民館事業について</li> <li>・ 資料2：塙保己一遺徳顕彰事業について</li> <li>・ 参考資料1：本庄市総合教育会議運営要綱</li> </ul>		
その他特記事項	<p>議題2（資料2）に関連する資料として、生涯学習課より以下の冊子等を当日配布いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌</li> <li>・ 世のため後のため 塙保己一</li> <li>・ 総検校塙保己一先生の検証活動のあゆみ</li> <li>・ The Story of HANAWA Hokiichi</li> </ul>		
主管課	企画課		

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>皆さまこんにちは。本日はお忙しいところ、令和2年度第1回本庄市総合教育会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、企画財政部企画課長の前川と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これより、会議を開催いたします。</p> <p>なお、本日は傍聴の希望者はありません。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたりまして、吉田市長よりご挨拶をお願いします。</p>
市長	<p>皆さまこんにちは。本日の総合教育会議は、児玉総合支所までお越しいただきました。ありがとうございます。先ほど、埴保己一記念館、児玉公民館、児童センター等ご見学いただきました。本日の議題は、公民館事業について及び埴保己一遺徳顕彰事業ということで、ご意見等賜りたいと思っております。</p> <p>昨年度は、「図書館の現状と今後について」、「貧困家庭・外国人に対する教育サポートについて」、「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組」、そして3月には臨時でお集まりいただき「新型コロナウイルスへの対応」について意見を頂戴したところでございます。あっという間の半年が過ぎました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う予防・対策、また経済対策等この半年間行ってまいりました。特に学校教育現場におきましては、先生方には神経を使いながら、お子さん方の感染予防等に努めながらここまでできました。この間、教育委員の皆さまにはいろいろとご心配いただいたことに、心から感謝申し上げる次第でございます。</p> <p>今後とも、教育に関する施策や、学術及び文化の振興を図るための施策について、皆さまに様々なご意見等頂戴しながら、本庄市の教育の方向性をしっかりと導き出して、努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きお願い申し上げまして、本日のご挨拶とさせていただきます。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。続きまして勝山教育長よりご挨拶をお願いします。</p>
勝山教育長	<p>皆さまこんにちは。爽やかな良い季節となってきました。本来であれば、スポーツの秋、文化の秋ということで市内各所にてスポーツや文化発表のイベントが行われる時期でございます。コロナ禍ということで、できることから少しずつ始まってきている状況かと思えます。学校でも、運動会については例年どおりにできないわけですが、平日開催で保護者の参観はなしという形で始まってきております。中学校においては、新人体育大会が先週の金曜日が陸上、それ以外の競技が今週の金土日と開催する予定です。感染症対策をとった上での開催ということで、これについても保護者の参観はなしで行うそうです。本日の総合教育会議では、公民館事業それから埴保己一遺徳顕彰事業と</p>

	<p>いうことで、主に社会教育分野になりますが、委員の皆さまにはぜひ忌憚のないご意見等いただきますようお願いしまして、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。それではここで、配布資料の確認をさせていただきます。本日の資料といたしまして</p> <p>① 本日の次第                  ② 資料1：本庄市における公民館事業について                  ③ 資料2：塙保己一遺徳顕彰事業について                  ④ 参考資料1：本庄市総合教育会議運営要綱</p> <p>以上4点でございます。不足等はございませんでしょうか。                  それでは、早速議題に入らせていただきます。「本庄市総合教育会議運営要綱」第4条第1項の規定により、市長が本会議の議長となることとされております。これからの議事の進行につきましては、吉田市長にお願いしたいと思っております。吉田市長よろしくお願いたします。</p>
市長	<p>要綱に基づき、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな進行にご協力をよろしくお願いたします。</p> <p>本日の会議録でございますが、本庄市総合教育会議運営要綱第7条第2項の規定により、「会議録には、市長及び市長が指名する1人の構成員が署名するものとする」とあります。本日の会議録につきましては、私と勝山教育長が署名するということですのでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それでは、事務局にて作成された会議録につきましては、本日出席の皆さまにご確認いただいた後に、私と教育長で署名を行うこととさせていただきます。</p> <p>早速、議事に入らせていただきます。本日は議題が2件ございますので、まずは「議題1 本庄市における公民館事業について」事務局より説明をお願いします。</p>
<b>【議題1】 本庄市における公民館事業について</b>	
事務局 (生涯学習課長)	(資料1に基づき説明)
市長	<p>ありがとうございました。ただいま、「本庄市における公民館事業について」説明いただきましたが、ご意見・ご質問等ございましたら、お願いたします。</p>
高橋委員	<p>お伺いします。2ページ目の表について、主催講座(女性教育)の開催が20回で810人の参加とあります。他の講座に比べると開催回数が非常に少ないですが、それに反して4ページ目の一番下段には、女性の利用が多く全体の70～80%だと書かれて</p>

	おり、矛盾があるように感じます。主催講座（女性教育）とは、具体的にどのような講座を行っているのでしょうか。お示しいただければと思います。
事務局 (生涯学習課長)	公民館の主催講座（女性教育）で主に行われているのは、歌声講座やヨガ、ストレッチなどです。
高橋委員	女性教育は、女性専用の講座ということですか。
市長	女性はたくさん参加しているのに、なぜあえて女性教育という講座があるのかという疑問ですね。
高橋委員	おっしゃるとおりでございます。
事務局 (生涯学習課長)	女性の公民館利用が多い理由は、主にクラブ活動で参加している方が多いためです。女性教育は、女性の社会進出を考え、分け隔てなく講座を行っています。
市長	おそらくですが、時代がかなり進んだことで、女性教育をあえて行う必要があるのか、というところまできているのかもしれませんがね。
高橋委員	なるほど。
市長	昔の婦人学級の名残ではないでしょうか。女性は家事や育児に縛られ、こういった場に出て来ることが少なかったため、公民館事業の一環として婦人学級を始め、女性に料理教室や教養講座などを行っていた時代がありました。私はその名残だと思いましたが、生涯学習課はいかがでしょうか。
事務局 (生涯学習課長)	昔から、婦人学級として婦人会が行っている講座があり、女性限定で募集をかけています。
市長	青少年、成人、高齢者、女性教育という風にカテゴライズされているのですね。
事務局 (生涯学習課長)	高齢者については老人会が老人を対象に、青少年についてはサマーチャレンジなど子ども限定や親子での参加を募集しています。
高橋委員	市長に説明いただき、昔、私の母も婦人会の会長をしており、短歌などをやっていたことを思い出しました。
市長	今でも婦人会が主宰しているという理由から、女性教育という名前が残っているのかもしれませんがね。
高橋委員	わかりました。
市長	他にいかがでしょうか。
落合委員	いくつかあるのですが、2ページの上段の文章について、事業は各公民館の館長が企画・立案しているとあります。新たに開催する事業の案や、前年度の事業を踏襲するものなどについて、利用者の意見を聴取できているのでしょうか。 また、企画運営について、利用者の代表がボランティアとして関わる機会等が設定されているのでしょうか。要するに、公民館へ市民の方へどう足を運んでもらうか考える体制が図られているのでしょうか。

事務局 (生涯学習課長)	講座によっては、講座終了後、参加者にアンケートを取っているため利用者の声を反映しております。 クラブの利用者団体については、各クラブの運営はクラブごとに自主的に行っているため、意見の吸い上げは行っていない状況です。
落合委員	例えば、クラブはクラブ主体で継承されていくと思いますが、公民館事業として新たなメンバーを入れる工夫をしているのでしょうか。新しいプログラムがあるという情報を広報に出した時、市民の方が来やすい状況になっているのか、そのあたりの人数調整はどのような段取りで進められているのでしょうか。
事務局 (生涯学習課長)	講座の参加者がクラブ活動へ発展できるよう、クラブの組織を支援する取組を行ってまいります。また、各クラブの活動やどのようなクラブがあるかについては、問い合わせがあれば逐一紹介をさせていただきます。
市長	講座を開催し、その講座がクラブへ発展したという状況の把握はしているのでしょうか。
事務局 (生涯学習課長)	クラブに発展するのはなかなかハードルが高く、そこまでたどり着いていないようです。
市長	講座で終わってしまうケースが多いということですね。既存のクラブもありますよね。
事務局 (生涯学習課長)	あります。
市長	既存のクラブに新しい人が入り、盛り上がっていくケースもあれば、だんだん人数が少なくなっていくケースもあると思いますが、そのあたりはどうでしょうか。
事務局 (生涯学習課長)	クラブ数は、今年度が273で、例年ほぼ横ばいの状況です。クラブの発展は伸び悩んでおりますが、意欲のあるクラブ等については支援をしていきたいです。
市長	今の若い方々は、講座に出ていろいろと学び、良かったねと話すだけで終わってしまい、クラブをつくるまでのエネルギーがない方が多いという話を聞きました。そのような傾向もあるのでしょうか。
事務局 (生涯学習課長)	そうですね。公民館で行われる事業の多くは、生涯学習という名目で行われています。生涯学習とは、あくまでもクラブをつくることが目的ではなく、自主的に生涯を学んでいくことです。公民館や市民総合大学での講座が、クラブに発展することが一番良いことかもしれませんが、まずはきっかけづくりに携わっているような状態です。
市長	クラブをつくり自分たちで運営することができなくても、講座がたくさんあれば若い人たちにも参加していただけます。また、学びの場が多くあるのは、ニーズにも応えられていると思います。新しい講座を開くと、若い人たちの参加もそれなりにあるので

	しょうか。
事務局 (生涯学習課長)	そうですね。公民館講座でもそうですが、特に市民総合大学では、新規に講座を立ち上げるとかなりの反響があるため、本庄市民の学習意欲は、非常に高いと考えております。そういったきっかけづくりをしっかりと行っていきたいと考えております。
市長	はい。他にいかがでしょうか。
今井委員	施設の面の課題として、老朽化とありました。先ほど児童センターと公民館を見学させていただきましたが、若い方に参加してもらうには、やはり施設そのものの使い勝手が良いことが大事だと思いました。子どもや障害者、高齢者の方が来ても入れるような複合型施設という点で、修繕していただければと思います。 難しいとは思いますが、明確な予定などは決まっているのでしょうか。
事務局 (企画課長)	昭和50年代にかなりの勢いで建てられた施設が、年月の経過により一斉に老朽化を迎える時期となりました。平成27年3月に、市内公共施設の今後の在り方を考える公共施設再配置計画を策定しました。統廃合できるものはして、長寿命化できるものは大規模改修で手を入れながら使用していくという内容です。しかし、すぐに取り組めるかという点、利用者がいる限り施設と施設をまとめることは、なかなか難しい面がございます。施設を運営していくには、当然維持費もかかりますので、そういった計画に基づき、検討を行っているところでございます。
今井委員	私も子どもがいる時には夏休みの講座に参加したり、母が生きていた頃には高齢者に関する講座へ参加したりと利用頻度が非常に高かったです。他所の地域から移り住んできたということもあり、そこで知り合えた方もいました。公民館活動は、自分自身が学ぶだけでなく、地域にネットワークを広げていく拠点にもなります。楽しかった思い出もありますので、ぜひ大切によりしくお願いします。
市長	ありがとうございます。実は、古い建物をどうするかという課題があります。旧本庄市の場合、小学校区域に1つずつ公民館をつくったため、地域の皆さまには愛着を持っていただいておりますので、いきなり統廃合を行うことは難しいところです。すでに統廃合を行っている施設もあり、アスピアこだまを建てた時には児玉公民館の分館を廃止し、児玉公民館をアスピアこだま内に移しました。それから、中央公民館を廃止しはにぼんプラザを建てましたが、その時には、はにぼんプラザは公民館ではないということから、中央公民館の利用者団体とはかなり揉めた経緯があります。最終的に、皆さまには納得いただき今の形となりましたが、統廃合はとてもエネルギーがかかることだと実感しました。 皆さまが利用する施設に手を入れることは、非常に大変なことです。しかし、もし良いものをつくらうとするのなら、統廃合を

	<p>したり、既存施設を再活用したりと、財政面も含めいろいろな工夫をしていかなければなりません。</p> <p>先日、市の部局長の会議においても同様の話がありました。新型コロナウイルスの影響により、財政的に厳しい時代が全国的に到来することを考え、今から対策を検討していかなければならないという問題提起がなされました。公民館というのは、今井委員がおっしゃったように、繋がりができる大事な場所です。</p> <p>他にございますか。</p>
岡崎委員	<p>課題の部分で、女性の利用に対し男性の利用が少ないということですが、やはり昼間は働いているため、女性の方が比較的多いのかなという気がします。利用者が参加しやすい時間帯に講座を企画するなど、そのあたりの工夫について、どのように考えているのでしょうか。</p>
事務局 (生涯学習課長)	<p>男性が日中に働いているため、夜の方が参加しやすいということは、我々も認識しております。研究させていただき、今後、平日の夜などに男性が参加しやすいような講座を開催することを考えていきたいと思っております。</p>
岡崎委員	<p>今はSNSなどのツールなどがございますが、周知の仕方に工夫している点があれば教えてください。</p>
事務局 (生涯学習課長)	<p>情報化社会により、SNSなどのインターネットにより情報が早く広まることは認識しておりますので、市ホームページにおいて、より見やすく、周知できるような方法を考えていきます。</p>
市長	<p>実はホームページが10月1日からリニューアルします。全面リニューアルで、ページのつくり方もガラッと変わりました。市民の皆さまが、お知らせしたいイベント等あれば書き込める、みんなの掲示板というコーナーもできます。</p> <p>公民館事業のホームページの活かし方については、これから検討するのでしょうか。</p>
事務局 (生涯学習課長)	<p>皆さまが見やすく、見つけやすいように、随時更新をさせていただきます。</p>
落合委員	<p>3ページの公民館の利用についてですが、本庄市が持っている全ての公民館の利用状況を100とした時、現在のクラブ利用等開催回数と講演会・会議等の開催回数は、どれくらいのパーセンテージなのでしょうか。公民館ごとに、これだけのプログラムがあり、これだけのことができるという目標値のようなものがあると思います。その中の何パーセントくらいが利用されているのでしょうか。概ねで結構です。</p>
事務局 (生涯学習課長)	<p>今回の年間利用者数の合計が13万人となっています。年々減少傾向にあり、昨年度は14万9千人で、一昨年は14万3千人です。元年度については、年明けから新型コロナウイルスを心配される方がいたため人数が減少しました。平成27年度には、16万人の利用者がおりましたので、年間16万人くらいのペース</p>

	に戻すことを目標にしております。
落合委員	そこを目指すために、先ほどの企画などの努力目標が出て来るということですね。
事務局 (生涯学習課長)	そうです。夜の講座などにも工夫させていただき、皆さまが参加しやすく、女性だけでなく男性も参加しやすい講座を研究していきます。
落合委員	ぜひお願いします。
市長	市民総合大学については、人数が増えてきていましたよね。
事務局 (生涯学習課長)	はい。今年は新型コロナウイルスの影響により、8月まで講座を中止としていましたが、去年は参加者が1千人を超えていました。年々参加者が増えており、認知度も非常に高く、市民総合大学をインターネットで検索すると本庄市が最初に出てきます。今後も市民の方が学習の場を利用できるよう、市民総合大学の推進をしていきたいと思っております。
市長	落合委員の話から感じたのは、WithコロナやPostコロナにおいては、オンラインで講演が聞ける体制づくりがニーズとしては出て来る気がします。
事務局 (生涯学習課長)	ヨガの講座については一度オンライン開催をしています。また、市民総合大学でもそういった意見は出ていますが、市民総合大学を利用されている方の年齢層がかなり高いため、まずそのあたりの課題をクリアしていかなければなりません。皆さまが参加しやすいような体制は考えたいと思っております。
市長	ありがとうございます。 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。公民館活動につきましては、皆さまにご意見を頂戴いたしましたので、しっかりと受け止めていきたいと思っております。 それでは、議題2に移ります。「埴保己一遺徳顕彰事業について」事務局より説明をお願いします。
<b>【議題2】 埴保己一遺徳顕彰事業について</b>	
事務局 (生涯学習課長)	(資料2に基づき説明)
市長	ありがとうございました。ただいま、「埴保己一遺徳顕彰事業について」説明いただきましたが、ご意見・ご質問等ございましたら、お願いいたします。 遺徳顕彰会の会長が私なので、始めに私から申し上げてよろしいでしょうか。実は、会員数の減少が顕著になってきています。1口1千円会費なので、呼びかけると皆さま納入してくれるのですが、振込の場合は手数料がかかるため、会合の際に納入をお願いしている状況です。 会員になりますと、皆さまのお手元に会報誌が届き、活動内容の確認をしていただけます。ぜひ、多くの方に会員になっていただきたいところですが、手間がかからない会費納入の方法等をも



	<p>う少し研究していかなければなりません。今は手数料がかからない徴収方法が、いくつかあるという話も聞いております。</p> <p>以前、5年会費や10年会費をいただいたらどうかという話もありました。しかし、一度に5千円や1万円となると、やはり躊躇してしまう気持ちが出てきてしまうと思います。そのため、人が大勢集まるイベントなどで、1千円なのでぜひとお願いすると、「去年は払っていなかったけど、また入るよ。」と納入してくれる方もいます。しかし、特に今年は、新型コロナウイルスの影響で、多くの人を呼ぶイベントがないものですから、非常に悩んでいるところです。例えば、一度会員になれば、申し出がない限り、口座から毎年1千円が引き落とされるような方法を研究するなど、なるべく皆さまに負担がかからないような納入方法を検討するよう事務局にも伝えていきます。</p> <p>質問が出る前に、先走って申し上げさせていただきました。皆さまからご意見・ご質問等ございましたらお願いします。もちろん、私が今お話した内容についても結構でございます。お叱り等あれば、きちんと受け止める所存です。</p>
今井委員	会費を募って運営しているということ、今日初めて知りました。申し訳ございません。
市長	PR不足で申し訳ございません。
今井委員	ほとんどの方が、会費を募っていることを知らないのではないのでしょうか。会費で遺徳顕彰会の運営を行っているということですか。
市長	そのとおりです。市からの補助金が18万円出ていますが、これまで皆さまからいただいたお金を50万円ほど積み立ててまいりました。そのおかげで、銅像を建て、さまざまな事業を行ってこれました。1人1千円ずつということは、100人いれば10万円、1千人いれば100万円集まります。今後もぜひ続け、広めていければと思っています。
今井委員	遺徳顕彰会の活動を、もう少し身近に感じられるような工夫があるのでしょうか。定期的に報告等あるのでしょうか。
市長	会報誌は年に何回発行していますか。
事務局 (生涯学習課長)	会員には年に3回、会報誌を配っています。
市長	新しい年になり、会費を払いたいと思っても、払う術がないためそのままになってしまうというケースが多いです。
今井委員	自治会では、赤い羽根などの募金は、これまで集めた自治会費の中から引き落とされますよね。
市長	赤い羽根であれば良いのですが、埴保己一遺徳顕彰会だと厳しいと思います。実は、最初は自治会の皆さまに呼び掛け、自治会単位で会費が集まりました。当初、自治会の役員さんや班長さんなどに声をかけていましたが、今だとなかなか難しいかもしれま

	せん。
今井委員	難しいのですね。
落合委員	<p>よろしいですか。資料2を見ていて思いましたが、資料のタイトルは塙保己一遺徳顕彰事業についてですが、その次の1番では、塙保己一先生遺徳顕彰会となっており、塙保己一に先生が付いたり付かなかったりしています。私自身、一カ月ほど前に読み物を書いていた時、塙先生と書いて良いものかすごく悩みました。いろいろと調べたところ、ヘレン・ケラーは保己一先生と呼んでおり、渋沢栄一翁についても翁が付くものと付かないものがありました。難しいとは思いますが、どこかで統一した方が良いと思いました。</p> <p>このことを、ある方に聞いたところ、先生というのは先に生まれた云々ありますが、さらに象徴的にするのであれば翁という呼び方はどうだろうという話になりました。没後200年となりますので、このあたりは意識改革していく必要があると思いました。行政の文書も、統一性を持ちながらつくったほうが、将来的に一格上の状況にしていけるのではないかと考えます。</p>
市長	<p>この話は、本日来ている職員が担当となる随分前に、市の中でも議論になりました。歴史上の偉人は、先生が付かなくて良いということで、行政文書では塙保己一で統一し、議会答弁も同様となっています。塙保己一先生という言葉は、一定数使っている方がおり、遺徳顕彰会については正式名称が総検校塙保己一先生遺徳顕彰会であることから、遺徳顕彰会が事業を行う際、塙保己一先生と呼ぶことを妨げられるものではありません。</p> <p>翁という言葉は、実業家や政治家に付く言葉です。渋沢栄一は、教育者というより実業家でしたので、渋沢栄一翁と呼ばれています。教育者の場合、翁と付いてもおかしくありませんが、先生と付くのが一般的です。また、翁と先生という呼び方は同格であるという話も当時ありました。そのため、塙保己一と塙保己一先生の、両方の呼び方があるのは仕方がないという議論が、過去に議会の巻き込んでありました。</p>
落合委員	ありがとうございました。
市長	他にございますか。
岡崎委員	<p>呼び方についてですが、子どもが塙保己一先生と呼ぶのは通りが良い気がします。先生と付くと、尊敬の意味が込められているように感じられますので、子どもに教える場合は呼び捨てよりも良いと思います。正式な呼び方と通り名は、別に考えても良いと感じました。</p> <p>塙保己一先生を全国的にPRする団体が、本庄市では遺徳顕彰会という位置付けなのですね。それにしても、予算が非常に寂しい気がしますので、本腰を入れて取り組むのであれば、市を挙げた改正が必要だと思います。商工会議所などを巻き込み、推進して</p>

	<p>いければと思いました。お金の面は、このままではもったいない気がしますので、全国から集めるなど考えていただければと思います。</p> <p>それから、これは会としての正確な名称なので仕方ないと思いますが、遺徳顕彰会というのも堅い呼び方だと感じました。</p>
教育長	<p>岡崎委員がおっしゃった名前の呼び方について補足ですが、学校の教室前に塙保己一の肖像画を掲げているのですが、その表題を塙保己一とするか塙保己一先生とするか悩みました。市の方針としては塙保己一ですが、子どもが観るものなので先生を付けた方が良いという議論があり、先生を付けた経緯があります。</p>
市長	<p>子どもに対しては、先生を付けて良いと思います。</p> <p>会費のことや遺徳顕彰事業について、ご指摘ありがとうございます。来年は、大きくシンポジウム等をやりたいと考えているところです。私が勝手に考えていることですが、実は、渋沢栄一翁のアンドロイドを貸してほしいと、深谷市の小島市長にお話をしております。渋沢栄一は塙保己一先生について、いろいろと講演を行っており当時の原稿が残っています。その原稿をアンドロイドに喋らせたなら、アトラクションとしては非常に面白いのではないかと考えており、すでに小島市長と話がついている状況です。来年は、そんなことも織り交ぜて大々的にと考えています。</p>
落合委員	<p>喋った音声を録音して、残しておくのも良いですね。</p>
市長	<p>渋沢栄一の演説、という形で残すのも良いですね。アンドロイドですが当時の肉声を再現していますので面白いですね。渋沢栄一は、本当に塙保己一を尊敬していたみたいですね。</p>
落合委員	<p>そうみたいですね。100回忌の時は来ていたそうですね。</p>
市長	<p>NHKのさいたま放送局には、渋沢栄一が塙保己一を尊敬していたことも売り込んであります。来年、大河ドラマが始まるので、なんらかの形で塙保己一を取り上げていただけないか話をしています。</p>
落合委員	<p>NHKで大河ドラマが始まるので、うちにある渋沢栄一翁の書を見せてほしいと川越の方からいらっしゃった方がいました。</p>
市長	<p>そうなのですね。</p> <p>会費は、きちんと説明すれば納得して納入してくれると思いますが、継続した納入をお願いすることが大変です。ここまでギリ貧となってしまったことに責任を感じておりますので、今後はしっかりしていきたいと思っております。</p> <p>余談ですが、塙保己一が創立した和学講談所の史料は、今の東京大学史料編纂所に継承されておりますが、そちらの教員に本郷和人先生という有名な方がいます。この方は歴史の解説者で、歴史好きの方には知られた先生です。一昨年、たまたま本郷先生にお会いする機会があり、塙保己一先生の絵柄が入った名刺を差し上げて自己紹介したところ、「ご先祖様でございます。」と最敬礼</p>

	をされました。来年度は、本郷先生にも関わっていただければと 考えており、事務局から本郷先生に打診をしているところござ います。これは議事録に残して大丈夫ですか。
事務局 (生涯学習課長)	はい。
市長	他にはいかがでしょうか。
高橋委員	会費のことですが、会報にある会員募集の部分について、複数 年一括納入の対応もしていると言入れればよろしいのではない でしょうか。例えば、1口1千円ですが、3千円の納入をもって 3年会員とするような形はどうでしょう。
市長	ありがとうございます。
教育長	1万円で永年会員とかも良いですね。
市長	良いかもしれませんね。
事務局 (生涯学習課長)	長期継続会員についても検討していきます。
教育長	毎年1千円を忘れず納入するのは大変です。
市長	悩ましいところです。ご意見いただきましたので、しっかり検 討していきたいと思えます。 他にご意見ありますか。よろしいでしょうか。この事業は、本 庄市にとって大事な後世に続けなければならない事業ですので、 今後ともご支援・ご指導いただければと思います。 それでは、本日の議題は終了させていただきます。その他とし て皆さまから何かございますか。ご質問でもご提案でも結構です。  (なし)  よろしいでしょうか。教育委員の皆さまにおかれてましては、 教育委員会等でもいろいろとご意見いただいているところござ いますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思えます。 それでは、本日の議事はこれにて終了とさせていただきます。 進行を事務局へお返しします。議事進行へのご協力ありがとうご ざいました。
事務局 (企画課長)	皆さまには、慎重審議大変ありがとうございました。 最後にその他といたしまして、今年度のスケジュールについて 事務局よりご説明いたします。
事務局 (企画課長補佐)	ご説明いたします。今後の総合教育会議の開催につきましては、 第2回会議を来年1月頃に予定しております。 その他につきましては、以上でございます。
事務局(企画 課長)	以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたします。本日 は、ありがとうございました。

様式

市長

吉田 浩解

---

教育長

勝山 勉

---